

小杉山円満寺 令和四年 春彼岸号

# 寺だより

新庄市五日町五九一四

TEL 二一〇四三三三 Fax 三三一一〇一六六

発行人：山尾瑛紀



この冬、雪の始末が大変でした。お日さまの力はすごくて、雪をみるみる溶かしていきます。暑さ寒さも彼岸までと言われます。これから木々が芽吹く季節がやってきます。

## 年二回のお彼岸

お彼岸は、それぞれ「春分の日」と「秋分の日」をお中日として、前後二日をあわせた七日間をいいます。二つのお中日は祝日です。国民の祝日に関する法律では、

「春分の日」は自然をたたえ、生物をいつくしむ日、「秋分の日」祖先をうやまい、なくなった人々を偲ぶ日と定められています。

お彼岸は法律が定められる以前からの風習です。すべての命の尊さを再認識し、ご先祖さま、亡き人への思いを込めて手を合わせてきた日本古来のお彼岸という行事が、現代でも貴ば



れていることを意味します。手を合わせて供養することは、自分が今暮らしているのは、「ご先祖さまのおかげ」という感謝の心を示すことにほかなりません。

## 仏事がわかるシリーズ

普段何気なく使っている仏事に際しての単語ですが、それってなに？と改めて聞かれると言葉につまってしまうことがあります。そんな仏事に関する単語について少しずつ説明していきます。

その一 お塔婆ってなあに？ 前編

## お塔婆の起源

お塔婆とは、お釈迦さまの入滅後、その遺骨を納めた仏塔「ストウパー」を音写した言葉である「卒塔婆」を略したものです。「ストウパー」は初めは丸い形でしたが、仏教が各地へ広がるにつれ、さまざまな形の「ストウパー」が建立されました。日本では、五重塔や、大塔、多宝塔などに姿を変えてきました。その後、石で五輪塔が建てられるようになりました。現在は木の板

で五輪塔を模したお塔婆が建てられるようになりました。お塔婆は仏塔と同じですので、「建立する」と言います。お大師さまは塔を建てるとその福德は無尽であると説いています。



## お塔婆の形

上から順に、宝珠、半月、三角、円形、方形と五輪の形に刻まれ、そこに空、風、火、水、地という五大を表す梵字（キャ・カ・ラ・バ・ア）が書かれています。これは、この世を始め仏の世界をつくり出している五つの要素を表しています。

また、大日如来そのものを表し、亡き人の仏の姿を表しています。お塔婆を見ることを通じて、仏さまや亡き人と出会うことにもなるのです。

※秋彼岸号では、お塔婆にどんなことが書かれているのかについて説明いたします。

## 節分会星まつり追儺式祈禱



去る二月三日（木）午後三時より歓喜天堂にて執り行われました。正面に大黒天をお祀りし、開運招福・厄災消除・家内安全・身体堅固を祈願いたしました。  
豆は外にのみ撒き、参列者のみなさまには袋に入れたものをお配りいたしました。

## 歓喜天初縁日 大護摩祈禱



去る二月二十日（日）に厳修いたしました。深法なる浴油供の後、家内安全・身体堅固・厄災消除・交通安全などみなさまの諸願成就を大護摩供によって祈願いたしました。

おめでとう

初縁日の夜に執り行いました。

例年であれば、初縁日護摩供厳修とお柴燈の案内チラシを出すのですが、今年も控えさせていただきました。ただし、電話での問い合わせには、実施の旨をお伝えいたしました。

天気予報では、夜荒れてくるとのことでしたので、少し早めに火を付けました。

この一年、皆さまが無病息災で過ごすごとができますように、住職が一心に祈願し、火入れました。

### 今日の法語 「帰命」 きみょう

帰命とは、自己の身命を投げ出して仏さまを信じること、帰依することです。梵語のナマス (namas) の漢訳であり、音訳されたのが“南無”です。

インドでは「ナマステ」と合掌してあいさつします。“テ”は“あなたに”の意味。つまり、「あなたの中の仏さまに礼拝します」という意味です。

私の中にも、あなたの中にも、仏さまがおられます。相互礼拝の気持ちで、敬いあえる世の中でありませう。

本山智積院季刊誌よ



り



### ご案内 花まつり

四月の一ヶ月間、本堂にお釈迦さまの誕生仏をお祀りします。

都合の付くときにおいでくださり、誕生仏に甘茶をかけてお祝いしてください。

### 奉祝

### 開山四百年記念祭

二〇二四年・令和六年

